

職場巡視能力向上教育カリキュラム (改訂後)

《場所》

大会議室
VR体感場所 (2階物置前 and/or 小会議室)
仮想現場巡視場所 体感ホール or 体感室 I

[2班体制]8:50~16:30

No.	手法	時間(分)	予定時間	講義科目		内容	予定時間	講義科目		備考
				1班 (4名)				2班 (4名)		
0	-	-	~8:50	0)受講者受入れ・着替え		※通常の体感教育同様	-	→		-
1	説明	15	8:50~9:05	1)オリエンテーション		自己紹介、研修の目的、スケジュール説明等	-	→		(1, 2班合同)
2	-	10 (移動含む)	9:05~9:15	2)ラジオリモコン・服装点検 (@体感ホール)		※通常の体感教育同様	-	→		(1, 2班合同)
3	座学	25	9:15~9:40	3)職場巡視のポイント (危険源の見つけ方)		VR巡視の事前説明	-	→		(1, 2班合同)
(10)				(休憩)						
4-1)	体感	30	9:50 ~10:20	4-1)360度VR巡視パトロール 工場概要、巡視ルート説明、巡視の着眼点 ・VR2機使用:倉庫前、小会議室各2名 ((25分×1名+a) /機)		・巡視方法について説明 VR巡視パトロール	30 (9:50 ~10:20)	【仮想現場巡視-1, 2】 ※ 以下の5科目より2科目を選択 4-1) フォークリフト ① 走行・停止時 (機構・安全装置等) ② 共同作業時 (フレコン吊り作業) 4-2) 回転体: ベルトコンベヤ ・ガード、安全距離、インターロック他 4-3) 回転体: ロール他 ・ガード、安全距離、インターロック他 4-4) 高所作業 ・脚立、移動梯子使用のポイント、上下作業他 4-5) 薬液関連設備 ・適正保護具 & 取扱い、必要な表示他		※ 4-4), 4-5)は25年1月以降新設科目 4-1) 荷役作業他における気付き事項 の抽出→対話、講師解説 4-2) ベルトコンベヤを用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説 4-3) ベルトコンベヤを用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説 4-4) 高所体感設備を用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説 4-5) 薬液体感設備を用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説
4-2)	対話	20	10:20 ~10:40	4-2)VR巡視結果と解説 (倉庫前、小会議室でそれぞれ実施)		・VR巡視結果 (気づき事項) と法令、 基準に基づく講師解説	30 (10:20 ~10:50)			
5-1)	体感	30	10:40 ~11:10	5-1)360度VR巡視パトロール 工場概要、巡視ルート説明、巡視の着眼点 ・VR2機使用:倉庫前、小会議室各2名 ((25分×1名+a) /機)		・巡視方法について説明 VR巡視パトロール		(5分予備)		
5-2)	対話	20	11:10 ~11:30	5-2)VR巡視結果と解説 (倉庫前、小会議室でそれぞれ実施)		・VR巡視結果 (気づき事項) と法令、 基準に基づく講師解説	30 (10:55 ~11:25)	5-)VR危険体感 (り災者視点の体感) (4名全員) メニュー (以下の4科目より1科目を選択) -1) ショベルローダーとの接触、-2) 仮設足場からの墜落 -3) ベルトコンベヤ巻き込まれ、-4) FRPタンク踏み抜き		(体感室にて実施) ※ -3),-4) は25年1月以降新設科目
6	座学	30	11:30 ~12:00	6)JX金属G.の災害発生傾向、送検事例 (安全配慮含む)		自身/部下に及ぶリスク	-	→		(1, 2班合同)
(60)				(12:00 ~ 13:00) 昼食休憩						
7-1)	体感 /対話	30 (移動含む)	30 (13:00 ~13:30)	【仮想現場巡視-1, 2】 ※ 以下の5科目より2科目を選択 7-1) フォークリフト ① 走行・停止時 (機構・安全装置等) ② 共同作業時 (フレコン吊り作業) 7-2) 回転体: ベルトコンベヤ ・ガード、安全距離、インターロック他 7-3) 回転体: ロール他 ・ガード、安全距離、インターロック他 7-4) 高所作業 ・脚立、移動梯子使用のポイント、上下作業他 7-5) 薬液関連設備 ・適正保護具 & 取扱い、必要な表示他		※ 7-4), 7-5)は25年1月以降新設科目 7-1) 荷役作業他における気付き事項 の抽出→対話、講師解説 7-2) ベルトコンベヤを用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説 7-3) ベルトコンベヤを用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説 7-4) 高所体感設備を用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説 7-5) 薬液体感設備を用いた気付き事項 の抽出→対話、講師解説	30 (13:00 ~13:30)	7-1)360度VR巡視パトロール 工場概要、巡視ルート説明、巡視の着眼点 ・VR2機使用:倉庫前、小会議室各2名 ((25分×1名+a) /機)		・巡視方法について説明 VR巡視パトロール
7-2)	体感 /対話	30 (移動含む)	30 (13:30 ~14:00)				20 (13:30 ~13:50)	7-2)VR巡視結果と解説 (倉庫前、小会議室でそれぞれ実施)		・VR巡視結果 (気づき事項) と法令、基準 に基づく講師解説
(10)				(5分予備)						
8-1)	体感	30	30 (14:05 ~14:35)	5-)VR危険体感 (り災者視点の体感) (4名全員) メニュー (以下の4科目より1科目を選択) -1) ショベルローダーとの接触、-2) 仮設足場からの墜落 -3) ベルトコンベヤ巻き込まれ、-4) FRPタンク踏み抜き		(体感室にて実施) ※ -3),-4) は25年1月以降新設科目	20 (14:20 ~14:40)	8-1)360度VR巡視パトロール 工場概要、巡視ルート説明、巡視の着眼点 ・VR2機使用:倉庫前、小会議室各2名 ((25分×1名+a) /機)		・巡視方法について説明 VR巡視パトロール
(10)				(休憩)						
9	RP	95 (休憩5分含む)	14:45 ~16:20	9)指摘の仕方(声かけテクニック) 大会議室 指摘を受けた者が改善する気になる (指導ノウハウ)		教え方理論と技術のロールプレイ (アサティブコミュニケーション)	-	→		(1, 2班合同)
10	説明	10	16:20 ~16:30	10)まとめ、意見・感想		フィードバック、アンケート	-	→		(1, 2班合同)

400 ...講義正味時間
495 ...休憩等含む総時間